

# 令和元年度 自己評価・学校関係者評価

## I 自己評価

岐阜県立大垣工業高等学校 定時制課程

学校番号

2705

1 学校教育目標	○心豊かな人間性と創造性をかねそなえた実践的な産業人を育成する。 (1) 誠実で心豊かな人間性とたくましい実践力を育てる。 (2) 基礎学力の定着を図り、主体的学習態度を育てる。 (3) 健康・安全教育の充実に努め、健康を保持増進する態度を育てる。
2 現状の分析	○問題行動や不登校を経験した生徒、不安定な家庭環境や交友関係を持つ生徒、不規則な生活習慣の生徒、外国籍の生徒等、多様な課題を抱えた生徒が年々増加している。 ○入学してくる生徒の学力や、基礎的な生活習慣を含めた生活力の個人差が年々大きくなってきている。 ○求人数の増加と適切な進路指導により就職状況は安定している。
3 学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域唯一の定時制工業高校としての社会的ニーズに応える学校で有りたいが、外国籍生徒の増加等により充分に応えられない。</li> <li>・地元企業から優秀な人材を望まれる一方、基礎学力不足の生徒が増加している。</li> <li>・基本的な生活習慣の欠如により生活リズムを見直さなければならない生徒が多数在籍している。個別指導を行った後にも、改善が見られない生徒も多いため、個々の生徒に対してきめ細かく粘り強く指導を行っている。</li> <li>・経済的に困窮し、生活環境も大変厳しい生徒が在籍している。</li> </ul>
4 今年度の具体的な重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遅しく生き抜くための基礎学力の定着と、専門知識・技能の習得を図る</li> <li>2. 社会人としてのマナーやモラルを身につけた生徒の育成「生徒のことを思いやる心と共感的な生徒理解」</li> <li>3. 地域社会や地域産業から期待され、信頼される学校づくり</li> </ol>

年 度 目 標			年 度 末 評 価			
5 評価項目 領域・分野	6 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	7 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	8 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	9 評価 A・B・C・D	10 成果と課題	11 総合 評価
教育課程 学習指導	①基礎基本の定着を徹底する	①生徒アンケートの分析	① 生徒アンケート結果	B	○3観点による評価の重点化 ▲学習意欲欠如への支援	A
	②具体的到達目標を設定する	②成績不良科目数の減少	②成績不良科目数の減少	B		
	③資格や検定の取得を励行する	③検定の合格率	③検定の合格率	B		
進路指導	①進路ガイダンス機能の充実	①就職希望者全員の内定確保	①キャリア講座の実施	B	○各種ガイダンスや体験による進路意識の高揚 ▲就労後の定着	B
	②企業見学の積極的な実施	②就職内定率	②就職内定率100%	A		
	③検定試験特別補修の実施	③検定試験合格率	③検定試験合格率の上昇	B		
生活指導 (教育相談)	①生徒情報の共有	①毎日の連絡会での共有	①遅刻早退届の習慣化	B	○遅刻・早退届の習慣化による社会性の上昇 ▲組織の柔軟な対応力	D
	②交通安全講話や点検の実施	②講話や点検の実施回数	②職員研修会の実施	B		
	③外部機関との積極的連携	③外部機関との連携	③スクールカウンセラーの積極的活用	C		

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和元年1月29日

12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の重点化と教材の精選について更に研究し、成就感や達成感を持って授業に取り組むことが出来るように、指導方法や評価方法（3観点）を改善する。</li> <li>・少人数制授業により生徒の能力に合った授業展開を行う。</li> <li>・資格・検定の取得を勧め、有意義な学習活動の援助を続ける。</li> <li>・キャリア教育を推進することにより、生徒が自らの生き方を考える機会を提供する。</li> <li>・働き方改革として連絡会を月木の縮小する。</li> </ul>
------------------	---